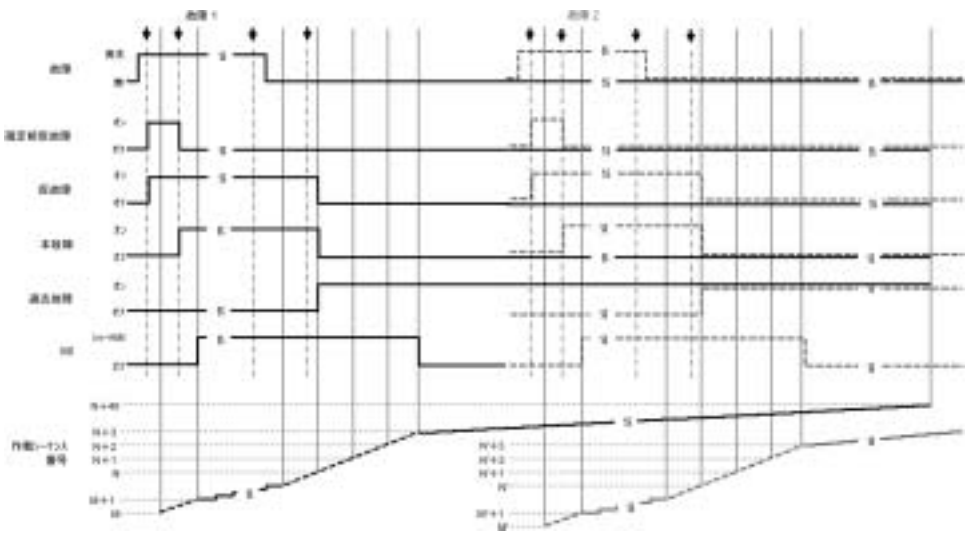
図２　２回の連続した異なるクラスＢ１故障発生の際の故障コードステータス



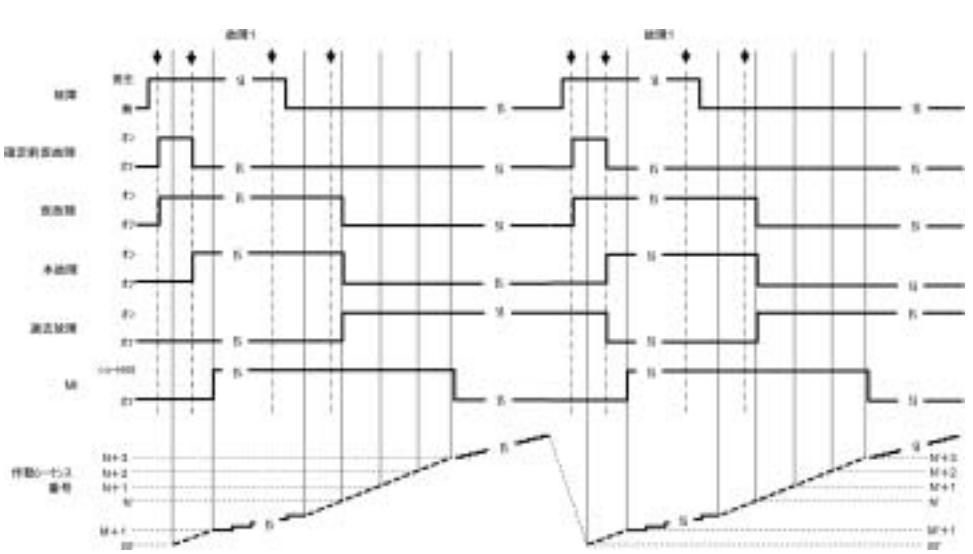
㈱　図中の矢印は、該当する故障の監視が実行されたポイントを示す。

N、M、N’、M’の説明：本技術基準では、一部の事象が発生する「主要」作動シーケンスの特定とそれに続く作動シーケンスのカウントを要求している。この要件を図示するために、「主要」作動シーケンスには最初の故障に対してNとM、２回目の故障に対してN’とM’の値がそれぞれ与えられている。

Mは確定前仮故障の検知後の最初の作動シーケンスを示し、Nは本故障がオフに切り替わった作動シーケンスを示す。

N＋40の説明：MIが消灯してから40回目の作動シーケンス又は200時間のエンジン作動のいずれか早い方。

図３　クラスＢ１故障の再発生の際の故障コードステータス



㈱　図中の矢印は、該当する故障の監視が実行されたポイントを示す。

N、M、N’、M’の説明：本技術基準では、一部の事象が発生する「主要」作動シーケンスの特定とそれに続く作動シーケンスのカウントを要求している。この要件を図示するために、「主要」作動シーケンスには最初の故障に対してNとM、２回目の故障に対してN’とM’の値がそれぞれ与えられている。

Mは確定前仮故障の検知後の最初の作動シーケンスを示し、Nは本故障がオフに切り替わった作動シーケンスを示す。